

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号 5208 学校名 中津高等学校（定時制）

学校教育目標 (教育方針)	1 人間尊重の精神を基調として、生徒一人一人との心のふれあいを深め、信頼と愛情に基づく教育実践に努める。 2 勤労生徒としてのたくましい心身と強い責任感を高揚し、民主的社会の担い手として調和の取れた人間性豊かな生徒を育成する。
------------------	--

3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を育てたいか【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力と生きる力を身に付けることで、自信を持って自らの人生を切り拓くことのできる生徒 協同をとおして他者との信頼関係を築きながら、一歩前に踏み出せる生徒 様々な参加機会を活用して自らの役割を理解し、家庭・地域・社会の担い手となる生徒
	生徒をどう育てるか【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの興味・関心・能力・経験等に合わせ学びの楽しさを育む授業の工夫と基礎学力指導 少人数でアットホームな学校生活の中で自己効力感や信頼関係を育む学校文化の維持・発展 様々な学校行事や就労体験を通じた自己有用感の育成
	どんな生徒を待っているか【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 自らの課題に対して4年間努力して前向きに取り組もうという意志のある生徒 仲間や教師など他者との信頼関係を築き、自らの可能性を広げたいという生徒 卒業後の進路を見据え学業と就労の両立を図り、学校行事に積極的に参加しようとする生徒

学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向の生徒が多く、基礎学力の定着が不十分な生徒が多い。 対人関係や集団での行動が苦手な生徒が多い。 将来の見通しを持たず、自己の将来設計が立てられない生徒が多い。 保護者との連携が十分に取れない家庭が少なからず存在する。
----------	--

教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	生徒の安心、安全を確保し、個々の成長に応じた自立支援を行う。	「教職員の働き方改革プラン」を推進し、教職員の長時間勤務や多忙化解消に向けた努力を行う。
	学習指導	生徒個々の躰きを理解したうえで「学び直し」の要素を取り入れ、個々の学習到達段階に応じたきめ細やかな学習支援を心掛け、基礎学力の定着を図る。	生徒の興味・関心を高め、学習の定着を図るため、ICT機器の効果的な活用を図る。
	生徒指導	毎日職員連絡会を行い、生徒情報を共有することで、職員の共通理解のもとに個々の生徒の指導・支援を行う。	様々な学校行事を通して自己有用感を育成する。
	進路指導	将来に見通しを持ち、早い段階から将来設計を家族を交えて検討する。	基本的な生活習慣を確立し、経済的自立に向けた一歩を踏み出す。

領域分野	年度目標			年度末評価(自己評価)			
	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学校経営	・誰一人取り残さない学びの機会を確保するため、個々の状況に応じた丁寧な支援体制を工夫する。	23	施策IV-23	・管理職による面談 ・エントリーシート 疲労度蓄積チェックリスト ・勤次郎 ・生徒・保護者学校評価アンケート			
	・災害安全や交通安全、情報モラル等の安全教育を重点的に実施し、生徒の安全確保に努める。	19	施策III-19				
	・生徒一人一人がかげがえのない存在であることを認識し、学校行事等を通して自己有用感を醸成する。	1	施策I-1				
	・あらゆるハラスメントを未然に防止するため、職員会議や職員研修を通して職員のコンプライアンス意識向上を図る。	28	施策IV-28				
学習指導	・誰一人取り残さない学びを提供し、個に応じた基礎学力を育成する。	23	施策IV-23	・生徒・保護者学校評価アンケート ・授業評価アンケート			
	・生徒の情報活用能力を向上させるため、授業において効果的なICTの活用を工夫する。	9	施策II-9				
	・個々の生徒の習熟度に応じた個別の学習支援を行い、「学び直し」の視点を大切にする。	8	施策II-8				
	・「通級による指導」を効果的に活用し、発達障がい疑われる生徒に対し、適切な支援を行う。	21	施策IV-21				
生徒指導	・生命尊重の理念に基づき、外部機関から講師を招き、健康、安全、防災等の意識向上を図る。	19	施策III-19	・生徒・保護者学校評価アンケート ・各講習会後の感想・アンケート ・心のアンケート ・いじめ調査			
	・個人面談や教育相談等を通して、個々の理解に努め、共通理解のもとに必要な支援を行う。	3	施策I-3				
	・学校と地域、家庭との連携を強化することで、生徒の安全・安心な居場所づくりの整備を図る。	7	施策I-7				
	・外部講師を積極的に活用して主権者教育、消費者教育の充実を図る。	12	施策II-12				
進路指導	・インターンシップ等職業体験活動への積極的な参加を図る。	14	施策II-14	・生徒・保護者学校評価アンケート ・インターンシップ参加者の感想等			
	・家庭を交えて進路に関する話し合いを重ねることで、家庭と連携した進路支援を行う。	7	施策I-7				
	・地域の産業界と積極的な情報交換を行い、キャリア教育の充実を図る。	13	施策II-13				
	・将来の自己のあり方や生き方について主体的に考え、一歩を踏み出す力を支援する。	22	施策IV-22				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日 学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日

--	--